

第29号

発行日:2016年6月15日
 発行:鹿児島純心女子短期大学
 同窓会ゆかり会
 〒890-8525 鹿児島市唐湊4-22-1
 TEL・FAX (099) 255-7655
 E-mail jyukarikai@ybb.ne.jp
 U R L <http://www.geocities.jp/jyukarikai>
 編集:ゆかり会事務局

会報 ゆかり



名誉会長
 平山 久美子 (学長)



+ 世の中を明るく照らす 「純心マッチ」になりましょう

心を伝えることは、社会人として基礎的な礼儀です。

(2)「純心マッチ」になりましょう

また、これから社会に出て、いろいろな方とお会いすることになるとと思いますが、軽はずみに人のうわさ話をしたり、人の悪口をいったりすることのないように、自分の口を慎むことを忘れないようにしましょう。

その反対に、誰かからご注意をいただいた時には、素直に「すみません」と申し上げて、わが身を振り返ってみましょう。本当の振り返りは、さらに素晴らしい自分になるためのステップになるはずで。江角先生も次のようにいっておられます。「悪口を言う人をにくまないで、弁解しないで、わが身を反省する。」

また、その逆に人に対して何かを注意したいと思った時、ちょっと立ち止まって、この注意は本当にその人のためになることかと考えてみましょう。江角先生も次のようにアドバイスしておられます。「大急ぎでいう前に、その人の立場に自分をおいてみる。」

人の言動を問題にする前に、むしろ、私たちは人が見ていないところで、そっと人を喜ばせることを実践してみましょう。そうすれ

ば、春の光のような温かさが自分の心に広がるはずで。

また、家庭も職場も、人と人からなる共同体です。お互いに協力しながら生活し仕事を成し遂げていきます。人から何かを頼まれる時があるでしょう。そのような時、どのような返事をしたらよいのでしょうか。皆さんは江角先生の次の言葉を記憶していることでしょうか。「何かを人に頼まれたとき『できません』でなく『やってみましょう』 聖母マリアの謙遜な心で私のまわりの人達を照らす一本の『純心マッチ』となるのです」

こうして純心の卒業生たちが自分の周囲から人々の心を明るく照らす「純心マッチ」となってくだされば、世の中がどんなに生きやすい平和な世界になっていくことでしょう。皆さんの今後のご活躍をお祈り申し上げます。



5月28日 聖母行列

今年はいつよりも三寒四温の変化が激しく感じられましたが、ようやく春の穏やかな温かさが感じられるようになりました。早いもので、皆さんは明日、卒業式を迎えようとしております。そして本日は、卒業式に先立って、本学の同窓会である「ゆかり会」への入会式を皆さんの先輩方が準備してくださいました。毎年、このように「ゆかり会」の役員の方々が、皆さんのために立派な同窓会入会式を開催して下さることを、私は大変ありがたく感謝しております。

(1)感謝の心を伝えましょう

さて、卒業式を迎えようとする皆さんに毎年お願いすることなのですが、この2年間、皆さんを本学に在学させてくださり、いろいろな面で支援して下さったご両親、家族の皆様、恩人の方々に対して、どうぞ感謝の気持ちを何らかの形でお伝えくださいますようお願いいたします。「ありがとう」との感謝の